

4.資料編

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3 自治会アンケート結果

アンケート概要

調査手法：記名による選択式及び自由記述式のアンケート調査票を配布

調査対象：飛鳥地区、済美地区、鼓阪地区、佐保地区、椿井地区の各自治連合会に所属する自治会長

調査期間：アンケート配布期間 令和2年9月上旬から下旬

アンケート回収期間 令和2年11月30日（月）まで

配布方法：飛鳥地区、済美地区、鼓阪地区、佐保地区、椿井地区の各自治連合会の役員会で配布

回収方法：郵送（一部手渡し及びFAX）

回収率：66.8%（205件／307件中）

地域の伝統行事&お祭り BOOK「奈良町」 Vol.3

自治会アンケート

奈良市では、皆様のご協力のもと、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK奈良町』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成し、市民だよりとともに配布いたしました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。

つきましては、当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

自治会名		回答者役職	
回答者氏名		回答者連絡先	

各設問の該当する番号に○をしてください。

問1) 所属する自治会で伝統行事を主催、または、地域の伝統行事に参加など何らかの形で伝統行事に参加していますか。

- ①はい →問2へ
- ②いいえ →問7へ

問2) 地域の伝統行事を残していきたいと思いませんか。

- ①思う
- ②思わない
- ③どちらともいえない

(理由)

問3) 地域の伝統行事を継承するために課題を抱えていますか。

- ①はい
- ②いいえ

(課題を具体的に教えてください)

問4) 伝統行事を継承するために工夫していることはありますか。

- ①ある
- ②ない

(取り組んでいる工夫を具体的に教えてください)

問5) 他の町で取り組まれている工夫について参考にしたいですか。

- ①したい
- ②したくない

問6) 伝統行事に参加することについてどう思いますか。(複数回答可)

- ①楽しい
- ②誇りである
- ③地域の結束になる
- ④当たり前のことである
- ⑤致し方ないことである
- ⑥本当は参加したくない

問7) 個人的に伝統行事に参加する機会があれば、参加したいですか。参加してみたい行事があれば教えてください。

- ① したい
- ②したくない

(理由・参加してみたい行事等)

裏面もあります。

回答締切：令和2年11月30日（月）まで

お問い合わせ先：奈良市観光経済部 奈良町にぎわい課（原田・田中）

〒630-8253 奈良市鳴川町37-4

TEL.0742-24-8936 FAX.0742-24-8937

奈良町歳時記更新内容確認

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.1、1、2で掲載した伝統行事を、Vol.1、3でまとめて一覧で掲載する予定です。下記の項目を掲載しますので、内容に変更がある場合は赤字で訂正ください。概ね行事の日付順に並んでいます。なお、追加で教えていただいた行事も記載しております。そのほか掲載を希望する行事がありましたら、掲載希望欄に記載ください。

月	自治会名	行事名	日時	変更がある場合は赤字で修正ください			
				参加OK	町内の人限定	非公開	掲載しない
3・4月	西木辻中町	稲荷神社の二の午	3月の二の午の日	○			
	今在家町	桜祭り	3月末～4月初めの日曜	○			
	法蓮西町第1・法蓮西町第2	佐保川・川路桜祭り	3月末～4月上旬の1週間ほど	○			
	法蓮立花町・法蓮桜町	庚申祭	その年の2回目の庚申の日		○		
6・7月	手貝町	八鏡神社祭礼	4月8日	○			
	中辻北方町	稲荷神社初午	4月第1日曜		○		
	下御門町	椿明神祭	6月1日	○			
	高天市東町・高天市西町	夏祭り(高天市恵比須神社)	7月5日	○			
	餅飯殿町	弁財天祭り	7月6日、7日	○			
	餅飯殿町	理源大師法要	7月7日	○			
	鍋屋町	弁財天祭り(初宮神社)	7月6日、7日	○			
	北風呂町	巖島神社夏祭り	7月6日、7日	○			
	手貝町	弁財天祭礼(八鏡神社境内)	7月6日、7日	○			
	東向中町	弁財天祭(東向弁財天)	7月7日	○			
	押上町	弁財天祭礼(八坂神社境内)	7月7日	○			
	川上西町	弁財天祭礼	7月7日	○			
	西城戸町	弁財天祭	7月7日		○		
	橋本町	お薬師さん	7月8日			○	
	中院町	薬師如来祭礼	7月12日	○			
	川上西町	祇園社祭礼	7月13日、14日	○			
	内侍原町	八嶋神社宵宮・本宮	7月14日、15日	○			
	十輪院町・毘沙門町	毘沙門天王祭	7月14日、15日	○			
	大森町南	地藏祭	7月22日	○			
	不空院	地藏盆	7月22日	○			
	地藏町	地藏盆	7月22日、23日	○			
	花芝町	十福地藏尊地藏盆	7月23日	○			
	餅飯殿町	地藏盆	7月23日	○			
	奥子守町	地藏盆	7月23日	○			
	寺町	地藏盆	7月23日	○			
	法蓮町南一丁目・法蓮町南二丁目	地藏盆	7月23日	○			
	中新屋町	地藏盆	7月23日	○			
	綿町・京終地方東側町・西側町	地藏盆	7月23日	○			
	北京終町	地藏盆	7月23日	○			
	中清水町	爪がき地藏尊地藏盆	7月23日	○			
	築地之内町	地藏盆(正覚寺境内)	7月23日	○			
	中通町	地藏盆	7月23日	○			
紀寺東口町	早和良地藏尊地藏盆	7月23日	○				
新屋敷町	地藏盆	7月23日	○				
肘塚町	地藏まつり	7月23日	○				
上清水町	子安地藏尊地藏盆	7月23日	○				
下高畑町	柳地藏地藏盆	7月23日	○				
興善院町	夕日地藏尊地藏盆	7月23日	○				
傳香寺	地藏盆	7月23日	○				
十輪院	地藏盆	7月23日	○				
福智院	地藏盆	7月23日	○				
念聲寺	地藏盆	7月23日	○				
璉城寺	地藏盆	7月23日	○				
西新屋町	地藏盆(庚申堂)	7月23日		○			
南京終西町	地藏盆祭り	7月23日		○			
押上町	地藏盆	7月23日		○			
佐保川西町第1・第2	地藏盆	7月23日		○			
南市町	地藏盆	7月23日、24日	○				
御所馬場町	地藏盆	7月23日、24日	○				
北半田中町	地藏盆	7月23日、24日	○				
南城戸北方町・南城戸南方町・浄言寺町	地藏盆	7月23日、24日	○				
瓦町	地藏盆(瓦町会所)	7月23日、24日	○				

月	自治会名	行事名	日時	変更がある場合は赤字で修正ください			
				参加OK	町内の人限定	非公開	掲載しない
7月	八軒町	地藏盆	7月23日、24日	○			
	十三軒町	地藏盆・夏祭り	7月23日、24日	○			
	笠屋町	鑑地藏地藏盆	7月23日、24日	○			
	手貝町	しあわせ地藏尊地藏盆	7月23日、24日	○			
	奥竹町	地藏盆	7月23日、24日	○			
	橋本町	お地藏さん	7月24日			○	
	水門町	弁財天祭礼	7月第1土曜	○			
	東笹鉾町	弁財天祭	7月第1土曜・日曜	○			
	西木辻中町	夏祭り(聖天堂)	7月第2土曜、日曜	○			
	黒髪山	地藏盆	7月第3土曜	○			
	杉ヶ中町	若杉大明神社の祭礼	7月第4日曜		○		
	般若寺町	地藏盆	7月23日前後の日曜	○			
	阿弥陀寺	地藏盆	7月23日の前の土曜か日曜	○			
	下幸町・上幸町	鉾枝口地藏尊地藏盆	7月23・24日に近い土曜	○			
	南袋町二丁目	夏祭り(地藏盆)	7月23日以降の土曜(実施しない年もある)		○		
	元興寺町	地藏盆	7月23日前後の日曜か祝日		○		
	8・9月	法蓮山添西町	地藏盆	7月下旬の土曜または日曜	○		
今辻子町		夏祭り(住吉神社)	7月最終土曜、日曜	○			
下三条町		夏祭り(月日神社)	7月最終日曜	○			
三条池町		地藏盆	7月最終日曜	○			
勝南院町		住吉神社夏祭り	7月31日	○			
今御門町		率川地藏地藏盆	8月6日、7日	○			
西城戸町		大日如来祭	8月18日		○		
勝南院町		地藏盆(住吉神社境内)	8月23日	○			
法蓮桜町		地藏盆	8月23日	○			
元興寺		地藏会万燈供養	8月23日、24日	○			
10月	般若寺町	夏祭り(般若寺盆踊り)	8月第1土曜	○			
	中辻北方町	稲荷神社夏祭り	8月第1日曜		○		
	西新屋町	率川神社の祭事	9月1日		○		
	今御門町	道祖神社祭(猿田彦神社)	9月6日、7日	○			
	井上町	井上神社の祭り	9月14日、15日	○			
	元興寺町	白山神社祭事	敬老の日		○		
	中通町	秋祭り	9月末の土曜または日曜	○			
	肘塚町	櫛神社の祭	10月12日	○			
	鍋屋町	初宮神社秋大祭	10月16日、17日	○			
	南市町	南市恵比須神社秋祭	10月20日	○			
11月	中辻北方町	稲荷神社お火焚き	12月第1日曜		○		
	高天市東町・高天市西町	稲荷神社お火炊き祭(高天市恵比須神社境内)	12月8日	○			
	鍋屋町	初宮詣(初宮神社)	12月17日	○			
	高天市東町・高天市西町	高天市恵比須神社本宮	1月4日、1月5日	○			
	南市町	南市恵比須神社の初戎(5日戎)	1月4日、1月5日	○			
	南魚屋北町・南魚屋中町・南魚屋南町	富久神社の初戎	1月4日、1月5日	○			
	今御門町	涅槃会	2月15日			○	
	築地之内町	涅槃会	2月の日曜(町内会総会の日)		○		
	下三条町	観音講	3月17日			○	
	下清水町	涅槃会	3月の日曜			○	
通年	西木辻中町	聖天堂の月祭り	毎月16日(3月・7月を除く)	○			
	井上町	観音講	毎月17日	○			
	瓦町	地藏講	毎月23日	○			
	西新屋町	地藏講	毎月23日			○	
	中新屋町	庚申講	庚申の日			○	

上記のほか、神社のお祭り(御霊神社秋季例大祭、奈良豆比古神社秋祭り、飛鳥神社秋祭り、采女神社采女祭、氷室神社例祭、手向け山八幡宮転害会、狭間神社秋の大祭、鏡神社例祭、漢國神社例大祭、蛭子神社蛭子祭、率川神社三枝祭、八坂神社祇園祭、崇道天皇社夏祭、天神社夏祭りは記載予定です。)

追加で掲載を希望する行事

関係する自治会	行事名	行事日	参加OK	町内の人限定	非公開

■アンケート結果

問 1) 所属する自治会で伝統行事を主催、または、地域の伝統行事に参加など何らかの形で伝統行事に参加していますか。

- 1、はい 156
2、いいえ 49
(回答数 205、無回答 0)

問 2) 地域の伝統行事を残していきたいと思えますか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、思う 137
2、思わない 0
3、どちらともいえない 19
(回答数 156、無回答 0)

残していきたい	(90 意見/137 回答者中)
地域活性化・地域の親睦と交流	32
地域固有の伝統・アイデンティティ	12
子どものため	6
歴史・文化の継承	25
責務・使命・当たり前のこと	11
変化の容認	3
その他	1
どちらともいえない	(13 意見/19 回答者中)
少子高齢化による参加者・担い手不足	7
その他	6

自由記述式回答の種別と回答数

回答のあった 205 自治会のうち、76%にあたる 156 自治会が、何らかの形で伝統行事に参加しており、そのうちの 88%にあたる 137 自治会が、現在、自治会でやっている伝統行事を残していきたいと思っていることがわかった。自由記述欄に記載のあった中で最も多かった理由は、「地域活性化・地域の親睦と交流」で、次いで「歴史・文化の継承」である。「地域固有の伝統・アイデンティティ」と答えた意見の中には、歴史・文化の継承を意図するものもあれば、地域社会の形成を意図するものもみられた。また、「責務・使命・当たり前のこと」の意見の中には、伝統行事であるからといった理由が多く、「歴史・文化の継承」の一種だと考えられるが、特に使命感を感じているといった

意見のものを特筆している。以上のことから、地域の伝統行事を残していきたいと思っている理由の多くが、「地域活性化・地域の親睦と交流」「歴史・文化の継承」に大別されると考えられる。

なお、残していきたいと回答している意見の中には、残し方として、今のままの形で残すのではなく、社会変化や現状に合わせて取捨選択するなどの変化を容認しながら残していきたい、もしくは、変化することも必要だという考えが 3 意見あった。必ずしも現状のままを残していきたいと思っているわけではないようだ。

問 3) 地域の伝統行事を継承するために課題を抱えていますか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、はい 129
2、いいえ 25
(回答数 154、無回答 2)

継承するための課題	(161 意見/154 回答者中)
少子高齢化による参加者・担い手の減少	100
関心の薄れ	17
参加者の偏り	6
コミュニケーション不足・世代間交流	5
時間的余裕のなさ	5
信仰の問題	1
負担の増加	6
資金不足	10
伝統行事の意義の喪失	3
モチベーションの低下	1
変化の容認	1
周知不足	2
その他	4

自由記述の種別と回答数

問 4) 伝統行事を継承するために工夫していることはありますか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、ある 78
2、ない 72
(回答数 150、無回答 6)

継承するための工夫 (87 意見/78 回答者中)

参加対象に関する工夫	8
町内以外への声掛け 4、全員参加 4	
周知・呼びかけ方法に関する工夫	18
事前告知 1、のぼり 1、回覧 7、 文書配布 2、声掛け 5、SNS 等 2	
理解向上のための工夫	15
継続して実施 5、行事について伝える 8 会議を開催して伝える 2	
コミュニケーションに関する工夫	5
意見を聞く 1、対話する 2、親睦会 2	
内容の充実	9
子どものための企画 6、福引 3	
運営に関する工夫	24
マニュアル作成 3、機器設備の更新 3 簡略化・規模縮小 8、担い手 9、経費 1	
その他	8
ほかの自治会に教えを乞う、など	

自由記述の種別と回答数

問 5) 他の町で取り組まれている工夫について参考にしたいですか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、したい 100
2、したくない 41
(回答数 141、無回答 15)

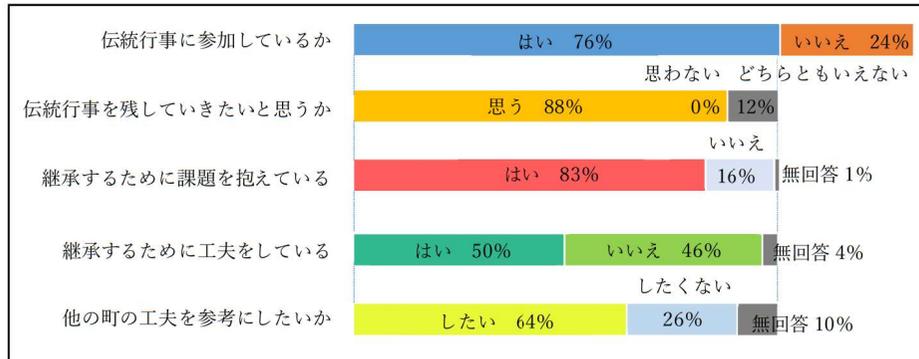
伝統行事に参加している 156 自治会のうち、88%にあたる 139 自治会において、継承するために課題を抱えていると回答しており、具体的な課題としては「少子高齢化による参加者・担い手の減少」が圧倒的に多い。また、参加者が少ない要因として、伝統行事に対する「関心の薄れ」が挙げられ、特に新たに地域に住みだした人、若年層の関心の低さを課題だと認識している様子が窺えた。なお、少子高齢化、関心の薄れに関連して、参加者に偏りがあることを課題だと認識しているところもあった。また、「コミュニケーション不足、世代間交流の困難さ」「時間的余裕のなさ」といった課題が挙げられているが、これら

は、それぞれ「関心の薄れ」と「参加者の偏り」の要因でもある。さらに、参加者が減少していることから、役員といった運営側の「負担の増加」、参加者からの寄付や賽銭の減少や負担割合の増加による不満を生み「資金不足」が生じている。加えて、参加者の減少に伴って、伝統行事が本来持つ意味や由来、やり方を知っている人が少なくなり、行事を行っていてもやり方が正しいのかわからないといったような「伝統行事が形骸化している」と感じている回答もみられた。このような状況から、「参加者のモチベーションが低下して、祭りの回数を減らしたい、減らさざるを得ないといった雰囲気がある」と答える自治会や「ネガティブなイメージを払拭するのが大変である」と答える自治会もあった。以上のことから、少子高齢化による参加者の減少、担い手不足という根本的な課題が、その他の様々な課題を誘発し、複雑に関連し合っている様子が窺えた。

これらの課題を少しでも解消するために、何らかの取り組みを行いたいと思っている自治会もあるが、伝統行事をどこまで変容させていいのかわからないのか、新住民や若い世代へどのように周知したらいいのかわからないのか、課題を解消するための課題を抱えている自治会もあった。

課題を抱えているかどうかに関わらず、課題解決のために何らかの工夫を行っているかどうかという問に対して、約半数の自治会が工夫を行っていることが分かった。工夫の内容としては、「参加対象の拡大」「周知方法」「理解向上」「コミュニケーションを図る」「内容を充実させる」、負担軽減のために「マニュアルを作成する」といった行事を維持させるための工夫を行っているところが 70 件あり、中には維持させるための「参加対象者の拡大」、「新企画の実施」、「行事の合同化」といった変化もみられた。一方で簡略化、規模縮小といった行事を縮小する工夫を行っている回答したところは 8 件と意外と少ない。

伝統行事に参加している 156 自治会のうち、64%にあたる 100 自治会が他の自治会での取り組みを参考にしたいと考えており、中には自治体に集会の呼びかけを希望する自治会もみられた。



問6) 伝統行事に参加することについてどう思いますか。(複数回答可、問1で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)



問7) 個人的に伝統行事に参加する機会があれば、参加したいですか。参加してみたい行事があれば教えてください。

- 1、したい 84
 - 2、したくない 82
- (回答数 166、無回答 39)



参加してみたい理由は、自分の町の行事の「参考にしたい」という理由や、「歴史文化を知りたい、継承したい」、「地域との関係を深めたい」など多様な理由があった。参加したくない理由については、「自身の地域の行事があるから」、「身体的な理由」が挙げられた。なお無回答の中には、現在は諸事情により難しいが、事情が変われば参加したいとのコメントもみられた。

問1での回答内容	参加したい	参加したくない
現状、云続行事に参加している	70	50
現状、云続行事に参加していない	14	32
合計	84	82

■自由記述式回答

①-1 地域の伝統行事を残していきたいと思う理由 (問2)

地域活性化・地域の親睦と交流 (32)

- ・地域社会、町の活性化、親睦と交流 (11)
- ・地域の関係性が希薄になった現代、伝統行事を開催することによって、コミュニケーションを取ることができ、交流が広がり親睦が深くなる
- ・町内会が南北に細長く、4組に分けてあるので、組同士は交流があるが、ほかの組とはほぼ交流がなく、神社で総会(年1回)を実施し、交流会としている
- ・異世代住民の交流および自治会活動への認識を高めるうえで有効
- ・住民相互の親睦と連帯感を高め、住みよいまちづくりを目指している
- ・地域の絆を保持、町内の結束、団結のために必要 (7)
- ・他にこれといった行事がなく住民が一堂に会する機会がない (2)
- ・町内の方々が年齢関係なくふれあえる機会なので (2)
- ・町内の人たちが協力し合える数少ない機会であるし、諸々が簡略化していく昨今、若い世代に知ってもらい、つなげていく文化だと思う
- ・次の世代に引き継ぎ、町内で今までやっていた行事を理解してもらい、町の発展に貢献できれば良いと思う
- ・住民と地域とを結びつける手掛かりとなる。暮らしと季節や行事と関わりができる。人と人とを結ぶ大切な行事
- ・古来より継承されている氏神さんの祭りに参加することで、地域とつながった社会を実感、地に足が付いた生活を過ごすことができる
- ・神社は、まちの中心、生活の場面、場面で大事な役割を担っており、生活スタイルが時代とともに変化していく現在にあっても人間の営みの原型を思い起こす、大切なトピクスとしての役割はずっと続く
- ・少ない町内なので何としても残したい

地域固有の伝統・アイデンティティ (12)

- ・その地域に昔からある伝統行事であるから
- ・国際観光都市の中でも歴史の厚い「ならまち」界隈に数多く現存する地蔵尊の祭典は、現状以上に盛り上がるように永続すべき行事
- ・規模の大小にかかわらず、町内の地蔵尊を祀っていくことは継続したい
- ・地域の人間のアイデンティティの形成にかかわることだから
- ・町内所有の涅槃軸を祭り、涅槃講を復活し伝えていくことが必要
- ・その町のよき伝統は残すべき
- ・地域の歴史や伝統を知り、地域の成り立ちそのものを現代の住民たちが認識するため
- ・地域としての歴史と人のつながりがあるから、継承しなければならない
- ・行事をすることによって、伝統を継承し地域の歴史を知ることができる。知ることにより、地域に関心を持ち大切にする気持ちが生まれると思
- ・奈良の歴史は奥深く、全国に影響を及ぼす。地域の伝統行事はそんな歴史を由来としており、古今東

西の伝統行事を存続させるためにも、極めて重要

- ・やはり奈良の中心地、できる限り、残していくことが必要
- ・地域の歴史と伝統を感じる機会

子どものため (6)

- ・年少の頃から祭りに参加していたことを記憶にあることは素晴らしいこと
- ・子どもたちが喜んで参加できる
- ・地域で協力する姿を子どもに引き継ぐため
- ・子供たちへの伝統行事への参加を通じて、日本の社会様式の一つのあり方を見せるいい機会
- ・子どもたちに伝承したい
- ・近所の子どもたちが来て、にぎわっているので、残していきたい

歴史・文化の継承 (25)

- ・伝統行事が一度消滅すれば復活が難しく困難である (4)
- ・文化を次世代に残したい (3)
- ・我々住民の先人たちが残してくれた伝統行事を継承し、後に伝えていくことが必要 (6)
- ・毎年4回祭礼が半世紀以上続いており、今後も大切にしていきたい
- ・安永元年 (1772) の伝統行事、自治会で子々孫々まで伝える行事だと思っている
- ・佐保川の奈良市内の桜をいつまでも維持管理して、見物人の心を癒していきたい
- ・12-13世紀に造立され江戸時代に修復されている極彩色の立派な地藏菩薩立像をお祀りしており、今後も地藏盆という形でお祀りしていきたい
- ・弁財天祭も大日如来祭もそれぞれ江戸時代から300年近く続いている行事であること
- ・歴史と文化のある町なので残していきたい
- ・町内にある神社は、小さな神社だが、長い歴史の割には、見捨てられたような存在。「隠れたところ」にスポットを当てることで、伝統行事のすたれを防止
- ・自治会の行事として残していきたいが、由緒ある稲荷神社なので祭祀として守っていこうと思う
- ・年間15回ほどの行事を中心に文化の伝承としても地域で大切に保存継承していかなければならない
- ・地藏尊に「よだれ掛け」を掛け、子どもの成長、家内安全を願う行事は大切に残していきたい
- ・近代化すると一層古事を大切に
- ・以前と同じようにしていきたいと思う

責務・使命・当たり前のこと (11)

- ・明治初めより祭りの記録が残っており、自治会が今後も将来にわたって維持継承すべき使命を有している
- ・この代で断絶させるわけにはいかない
- ・先人の残していった思いを後世に伝えていくその責務があると思う
- ・江戸時代以前より、継承されている文化財の仏像 (国立博物館に預けている) もあり、代々祭っていく必要、義務があり、若手に引き継いでいきたい
- ・奈良の町衆の伝統を後世に伝えるため住人の義務と思う (奈良は社寺と町が一体)
- ・伝統行事のため後世に伝えていくべき (3)
- ・神事にまつわる伝統行事は未永く残すべき

・残すのが当然である

・残すとか、残さないとかではなく、行っていくもの

変化の容認 (3)

- ・全ての行事を残すとは思わないが、伝統行事といえども時代とともに変化していくもので、変化を受け入れる姿勢も必要
- ・良いものは残し、悪いものは捨てる (改善) と考えているから
- ・昔から伝承されてきた行事には何らかの理由がある。その理由が、現在、適切か否かという問題があっても、当時の考え方や風習を今と照らし合わせてみて、改善すべきところは改善し、残すべきところは残し、対応して、我々の今後に役立つ

その他

- ・人々の暮らしは昔より良くなっているのか、これからどうしたらより良い暮らしになるのか、静かに考え、振り返る機会

①-2 地域の伝統行事を「残していきたいか、残していきたいと思わないか」のどちらもいえない理由 (問2)

少子高齢化による参加者の減少・担い手不足 (7)

- ・高齢化により年々行事を継続するのが難しくなってきた
- ・少子高齢化で平均年齢が高く、年配者ばかりで難しい
- ・子どもさんが少なくなっている
- ・伝統行事を継ぐ人が少なくなっている。おじいちゃん、おばあちゃんが町内に住みなれているから残り、家族は別にマンション等に住むことで地域から離れている為、いずれすたれていくように感じる
- ・ほとんどの会員が興味を持たない。世話をする人が老人ばかりで、会長が一人でやっているようなもの
- ・高齢化で活動できる人も限られ、若い人は仕事を持ちながらなので時間的にも無理がある
- ・町内の子どもが数人であり、町の高齢化もあり真夏に会員が外で待機するようなことはやめる方向に進んでいる

その他 (6)

- ・固執する必要はない
- ・形だけのものになっているものもあり、その主旨を理解し柔軟に変更していく必要があると思う
- ・それぞれの伝統行事によって異なる
- ・参加者意思を保つことの難しさ
- ・開催日 (曜日) により、主催者側の人数も振るいにくい。また、お客様の人も出まばらになる。
- ・いろいろな考え方の人がいる

②地域の伝統行事を継承するために抱えている課題（問3）

少子高齢化による参加者・担い手の減少（100）

主な意見

- ・毎年地蔵盆をしているが、主体はお寺が企画され設置されている。当自治会は補助で清掃と提灯付けだけだが、高齢者の上、参加できる人がいない。人的な要因が全てである
- ・後継者難、自治会長をすれば年1回といえども、暑い中で地蔵尊祭典をしなければならぬ。会員一同も似たり寄ったりで、それがなければよいとのムードが強く漂う（近隣町で地蔵盆がないところがあるので）
- ・氏子の高齢化も進み、新たな「行事のあり方」を進めようにも後継の若い世代に引き継ぎがうまくいっていない
- ・秋祭りの子どもたちの参加も年々少なくなってきており、伝えていく子どもたちはもちろん、親も少なくなってきており、あらゆる意味において人口減少は根本の課題
- ・伝統行事を継承する担い手である若年層住民が少なく、その後の年少者数も地域にとどまるかが不明で、将来が見通せない
- ・地域住民の年齢が高くなり、その子どもたちはこの地を離れ、東京、大阪などの地で職業をもち、所帯をもち、正月、盆などは帰省してもごく限られた期間のみ
- ・子どもが少なく、お稚見さん行列の参加が危ぶまれる
- ・老人が多くなり、下働きに必要な力仕事ができるものも減っている
- ・高齢化が進み、また、若い人たちが地域を離れていっているため、毎年規模を縮小している

関心の薄れ（17）

主な意見

- ・参加者が少ないため、どのようにして関心を持ってもらえて、参加者を増やすのが課題
- ・氏子の代表と地域自治会との関係が密なところと、そうでないところの差が大きく、全体としての力になっていないことがネック
- ・家族で地域の伝統行事に出かけることが少なくなって、近所同士のむずび付きや会話が減り一緒に出掛けるような機会が減っている
- ・今後の継承のため町内の関心を高める方策
- ・近隣から苦情が出るため開催場所が少ない
- ・地蔵祭りに全く関心を示さない人もいる（特に他地域からの移住者）
- ・神事に対する関心が低く、神前にお参りする方も年々減少してきている
- ・新たにマンションや居住してきた人たちは、歴史や慣習に関心が無い
- ・参加意識が徐々に希薄になってきている
- ・関心が薄い。小中学校での教え方を工夫し、奈良に住むとはどういうことなのかを考えさせてほしい
- ・若い人は関心がない

参加者の偏り（6）

主な意見

- ・旧町内の人には参加してくれるがマンション等の参加が少ない。その都度案内参加表を配っているが、
- ・若年層の参加が減少傾向にある

- ・40歳代以下の比較的若いご家庭の方々にとって、魅力的な内容になっていない（魅力的な内容だと思われていない）
- ・どうしても限られた住民だけの行事になってくるので、他住民とも交流が取れるようにしたい

コミュニケーション不足、世代間交流の困難さ（5）

主な意見

- ・現在の参加者が高齢化する一方で、若い自治会員において講への考えについて認識のずれがあるように思う。自治会員としての誇りともいえるが、年齢の差を越えてコミュニケーションを取り合うことへの不慣れが原因か、新規に講員を募集しても参加者が少ない
- ・他地域より入られた方々でもあり、年齢のギャップは否めない、徐々に地域になじんでこられているように思うので、うまく継承していければと思う
- ・近所付き合いの減少
- ・自己の考え方や主張を重視するあまりに他人の意見や考え方に同調することができず、すべての伝統行事を否定し、尻理屈を重ね、おのれの正当性を述べるのが人権であると考えている人が多くなってきている

時間的余裕のなさ（5）

主な意見

- ・仕事等で忙しいからか、若い人の参加が少なくなってきている
- ・新しく入居してきた方々は共働きで行事を行いたくても集められない
- ・継ぐ人たちも昔のような商売をしながら、というわけにもいかず、行事を行うこと、文化として継承することすべてが課題
- ・40歳代から70歳代は年金の関係等で働いており、お手伝いをお願いできない

信仰の問題（1）

- ・宗教上の理由により、民間信仰にご理解をいただけないケースがある

負担の増加（6）

主な意見

- ・合同で地蔵祭をしているが、各町会とも役員に負担がかかりすぎる
- ・町内会の衰退（住民減少）により維持管理が難しい
- ・内容の充実化が図れない
- ・魅力的な企画にしようとするパワーがないように感じる

資金不足（10）

主な意見

- ・人数が少ないため、寄付などの財源が乏しい

- ・祭りの予算も過去の預金のとりくずしで賄っており、後10年もたない
- ・本祀りに来る人の減少に伴い、賽銭等も減少し、経済的にも以前同様の開催が厳しくなっている
- ・伝統行事を行う上の費用の問題
- ・負担金抛出に不平不満が続出してきている
- ・周辺4自治会のボランティアで維持管理しているため、管理費の賄いに苦労している

伝統行事の意義の喪失(3)

- ・伝統行事の内容を詳しく知る先輩の方々が少なくなっている
- ・社寺にお金を抛出するだけの希薄な関係になっていて、コミュニケーションがない
- ・伝統的な行事としてやり方がわからない、開催したが人が集まらず、何をしたいかわからず。形だけでよくわからないため、人を集めるための何がいいのかも不明

モチベーションの低下(1)

- ・参加される人数が少なくなり、年3回の祭りごとが2~1回に思うこともある

変化の容認(1)

- ・今の時代にアレンジしても良いのか、など。古い様式をどこまで維持すればよいのか

周知不足(2)

- ・地域へは簡単に案内できるが、一般の方への周知が今のところ町内に立てる「のぼり」のみ。ほかにもう少し拡大した広報をしたいが、あまり費用はかけられない
- ・近隣にもアピールして、多数の方々の参加が望ましい

その他(4)

- ・他所の文化を教えてほしいと思う
- ・見物人が桜の木に登ったり、木の枝を折る行為に困っている
- ・施設の老朽化
- ・狭い道路に面していて、地藏尊の前でゆっくり地藏盆を行うことができない

③地域の伝統行事を継承するための工夫(問4)

参加対象に関する工夫(8)

- ・周辺地域へ告知する
- ・町内の保育所に声掛けする
- ・住民だけでなく、里帰りの孫、マンション住民、近隣の子どもたちにも参加してもらおう(2)
- ・なるべく町内全員が参加する、または、全員が参加するように役割分担をする(4)

周知・呼びかけ方法に関する工夫(18)

事前告知

- ・事前に開催案内を行う

のぼり旗

- ・町内にのぼり旗を立てる

回覧

- ・回覧で案内を行う(6)
- ・地藏盆の「よだれ掛け」を回覧で募集する

文書配布

- ・回覧だけでなく、印刷して配布する(2)

声掛け

- ・各戸に声掛ける(3)
- ・声掛けをしてみんなで行くようにしている
- ・若手の自治会員には声掛けをする

SNS等

- ・地藏盆をSNSを用いて広報(日本語だけでなく英語でも)
- ・Facebook等を利用して伝える

理解向上のための工夫(15)

継続して実施する

- ・毎年どんなときでも継続することで、地域住民やそれ以外の人にも理解を促す(5)

行事について伝える

- ・史料保存館の人に来てもらって講座を開催する
- ・行事の歴史を調べて資料を作り配布する(3)
- ・地域の社寺取材して、行事に対する協力をお願いする
- ・子どもや若年層の夫婦に参加を勧める際に、参加する意義を伝える
- ・若年層に教育する
- ・体験参加を呼び掛ける

会議を開催して伝える

- ・総会や会合を開き、みんなに伝える
- ・会議の場所を神社で行い、関係を深める

コミュニケーションに関する工夫（5）

- ・年配の方には声をかけて、40代の方にはいろんな意見を聞く
- ・地藏尊ではテントを張り、お供え物や福引の景品を買いに若い方の車で同乗していったりしながら対話をしている
- ・子どもとのふれあいで毎週交流している
- ・行事後の直会をコミュニケーションの場を利用
- ・行事の後、親睦を兼ねてピヤガーデンを開催

内容の充実（9）

子どものための企画を考える

- ・できるだけ多くの子どもが参加できるよう、子どもが喜ぶ催し（金魚すくい、お菓子配布）を行う（4）
- ・地藏さんラリーとして、各地蔵尊を巡ってスタンプを集め、抽選で子どもたちに好きなものを選んでもらうようにしている
- ・「よだれ掛け」の募集を回覧板で行い、地藏盆の際に持ってきてくれた子どもにお菓子を配る

たくさんの人に集まってもらえるような企画を考える

- ・福引や抽選会を行う（3）

運営に関する工夫（24）

マニュアル作成

- ・誰でもわかるようなマニュアル（詳細な説明資料）を作り、初めてでも行事ができるようにする（2）
- ・合理化を図るべく、①祭典用具の整理とともに、改良改善を実施、②用具一覧表（台帳）を作成、③祭典提灯飾り付け作業の手順書を図入りで作成している

機器・設備の更新

- ・行事に使用する備品（テントや提灯）の最新化
- ・祭典用具の統一
- ・お堂に入るのに階段もないので、高齢者のために役員が手作りした

簡略化、規模縮小

- ・簡素化する（5）
- ・神輿を車で運搬する
- ・開催期間を2日から1日に変更する
- ・規模を小さくする

担い手

- ・近隣自治会と合同で行事を実施する（4）
- ・持ち回りで担当する（2）

・有志で実施する

- ・テント設営を手伝ってくれる人がいないためアルバイトを雇ったことがある
- ・参加者の負担軽減を図る

経費

- ・維持費負担の軽減

その他

- ・参画しやすい環境づくり
- ・小規模ながら、各家ガレージ等で分散して行っている
- ・毎年役員が変わるが、それぞれが工夫して変化しながら続けている
- ・講員19名が協力して運営している
- ・自治連合会への参加
- ・町内の夏祭り、月嘗祭り、歳旦祭等、誰かしら参拝されること（ほぼ全員）。神社の清掃等で常に関わっている。
- ・他の自治会へ教えを乞いに行くなどしている
- ・どうしたらよいかわからない、行政主導でやってくれとは言わないが、ほかのみんながどうしているのかも知らない

④個人的に伝統行事に参加する機会があれば参加したいか (問7)

参加したい理由や行事

理由

改善の参考にしたい (5)

- ・参考にできることは取り入れていきたい
- ・伝統行事の成り立ちと運営方法を知りたい
- ・他の自治会の神社に関する行事内容と収支を知りたい
- ・当町の祭典改善点等の状況把握をしたいため。なお、貴課主催の地藏盆限定での会合(関係町含めて)を望みます
- ・他の町地藏祭など、わが町の伝統行事の参考になるかもしれない

歴史・文化の理解、継承 (4)

- ・生活の中の節句になる
- ・古くからの歴史・文化が伝わり、現在の奈良を形作っているものであり、現在の奈良に生きるものとして、これらを知ることは歴史・文化を深く理解し、次の世代に伝えていかなければならないと考えるため
- ・いろいろな行事を体験し、多くの方に伝えたい
- ・子どもたちに伝承したい

地域のことを知りたい、地域との関係を深めたい (4)

- ・こちらに引っ越してきて間もないので、地域のことを知りたいから
- ・自治会のつながりもでき、地域の歴史にも触れられるかと思う
- ・文化交流できれば、ほかの人と触れ合うことが良いと思う。町内清掃及びみんなどと一緒に楽しくやることが長く続けられるように思う
- ・いつ起こるかもわからない災害等により、個人ではなく、他人や地域の力が必要となるとき、少しでも自分の活動範囲を広げ近隣との関わりを深めたい。
- ・未だに知らないことが多いので勉強したい

手助けしたい (1)

- ・今後、少子化、人口減での後継者不足対策の手助けをしていきたいと思っています。

見学したい (2)

- ・まずは行事を見学(見物)に行きたい
- ・見学するのが楽しみです

機会があれば (2)

- ・機会があればとは思っているが、現在のところは観賞ですませている
- ・時間が合えば参加してみたい

参加したい気持ちはあるが、参加しづらい現状がある (5)

- ・「参加したい」けど煩わしい「役」を仰せつかるのはちょっと、というはなはだ勝手な気持ちもある
- ・個人的には参加したいと思う。以前は御霊神社の秋祭りの御渡式に参加していたが年とともに身体の負担を考えれば、なかなか行事に参加しづらいのが現状。
- ・大きい数珠が町内の家で保管されていることが判明。地藏堂で「数珠繰り」を復活させたいがリーダ

ーがない。

- ・個人的事情で今のところは不可能だが、参加してみたい
- ・まだサラリーマンで、遠方通勤しているので余裕がない。退職後、参加したいと思う
- ・奈良の街に住んでいる限り、伝統行事に参加できる機会があれば参加したいと思うが、仕事等で忙しいので、なかなか参加することができない

その他 (5)

- ・いろいろと経験はしてみたい
- ・自分が幼少期に参加した行事は、やはり懐かしく楽しい思い出の一つになっています。子や孫と一緒に、それらの行事に参加できること、話題にできることが、今は楽しみになっている
- ・当自治会には、地藏様がなく、昔よりほかの自治会の地藏盆に参加させてもらっている。今後も今まで通り、参加していきたい。
- ・毎年、企画し実行している
- ・おん祭りに参加している

参加してみたい行事

なんでも (1)

- ・何でも参加したい

地域や近隣の行事 (4)

- ・近隣の地域の行事
- ・今御門町の道祖神社祭にはお手伝いしたい
- ・地域の祭り、行事、公民館のイベント
- ・小さな地元のお祭りでも参加したい

子どもが楽しめる行事 (2)

- ・この行事というものは特にないが、子どもも参加して楽しめる夏祭り
- ・天神社夏祭り、子供が楽しめるから

神社のお祭り (8)

- ・神事、神社の祭 (2)
- ・春日若宮おん祭 (3)
- ・漢國神社例大祭
- ・氷室神社例大祭
- ・昨年、御霊神社の秋のお祭りに自治会長として参加し、御渡りの行列に加わった。初めての経験だったが、神事に関われてよかった。例年、お祀りやくじ引きにはいつている。地域にお寺や神社があって、お参りなどができるとありがたい。

地藏盆 (6)

- ・地藏盆 (4)
- ・盆踊り
- ・数年前の新薬師寺の地藏盆はとても良かった。ボランティアで屋台などをしてもらえなくなったとのことで、とても残念に思う。金魚すくい、スーパーボール、綿菓子、たこせん等々、とても盛り上がりがあった。

その他 (6)

- ・たくさん参加しているため
- ・新住民を巻き込まなければだめ。まだまだ知らないことがあるに違いない。裏面の一覧は、とても面白い。知らないことばかり。もっと広報してほしい。
- ・東城戸町で過去、落語会やジャズを聴く会などを実施しており、気軽に参加できる行事に参加したい
- ・質の良い行事には参加したい
- ・佐保川・川路桜祭り (2)
- ・秋祭り、夏祭り、花見など

- ・「参加する」が単なる観光でないなら伝統行事はそれまで行ってきた地域の人々で行うのが良い
- ・見学することの楽しみがある
- ・できない
- ・今のところはしたくない
- ・現在は特に

参加したくない理由

自身の地域の行事があるから (5)

- ・村の行事優先にしたい
- ・地域の伝統行事を全うしたい
- ・現在の当自治会の行事を将来に維持していくことで精いっぱい
- ・今は自治会での行事等で精いっぱいのため
- ・現状の行事を継続することに専念する

時間的理由 (4)

- ・仕事が忙しい
- ・多忙のため
- ・伝統行事以外のイベントに多数参加しており手が回らないのが実情
- ・時間的余裕

身体的理由 (6)

- ・自身の身体的な問題で重労働ができないため、事務などであれば時間が許せば協力可能
- ・自身の健康上の問題のため (2)
- ・体力的に難がある
- ・コロナ感染症のことを思うと、落ち着くまでは高齢者であるので、用心のため、行事参加はしたくない
- ・既に高齢であり、体力的に無理。地域も高齢者が多い。

環境的理由 (1)

- ・交通の便が悪い。車での参加になるため。

現状で十分 (2)

- ・人のつながりでほかの町などの行事にも参加する機会があるので、個人的にはこれ以上は必要ないかと考えている
- ・新たな行事には参加しようと思わない

その他 (8)

- ・子育て中は地藏盆などに参加していたが、今は子どもも独立したため
- ・地域の伝統行事が大切に守り継がれて身近に感じられるのは、歴史のある古い町奈良ならではの良さ。直接参加はできずとも、違った形であれど応援していきたいと思います。
- ・地区より小さい町等の行事なので、見知らぬ人が出入りするとセキュリティ的にもリスクが増えそう。

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3 個人向けアンケート結果

アンケート概要

調査手法：無記名による選択式及び自由記述式のアンケートをインターネット、メールで配信

調査対象：奈良町に来訪経験のある人

調査期間：アンケート配布期間 令和2年11月11日（水）から

アンケート回収期間 令和2年12月14日（月）まで

配布方法：インターネット・SNSで配信

回収方法：オンライン回答（一部手渡し）

有効回答数：62件（無効数1件）

くらし・手続き	市民活動・文化・スポーツ	子育て・教育	福祉・医療・保健・健康	産業・しごと・事業者向け	奈良市の魅力	市政情報
---------	--------------	--------	-------------	--------------	--------	------

所在地 [トップページ](#) > 地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(個人向け)

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(個人向け)

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。つきましては、奈良町(ならまち、きたまち、京終エリア)に興味を持ってくださっている方にも当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

※アンケートフォームは、ブラウザのクッキー(Cookie)を利用しています。(Cookie対応のブラウザでないとは動作しません) お問い合わせフォームを開いて6)分を超えた場合、内容の送信ができなくなりますので、もし送信までに時間がかかる際には、事前にメモ帳やワードなどで文章を作成してから問合せフォームに貼り付けてください。

Q1：年代（必須）

- 10代
 20代
 30代
 40代
 50代
 60代
 70代
 80代以上

Q2：性別（必須）

- 男性 女性 回答しない

Q3：奈良町への訪問回数（必須）

奈良町は、奈良市の旧市街地である「ならまち」「きたまち」「京終」エリアのいずれかに来訪した回数を1回とカウントしてください。

- 1回
 2～3回
 5回程度
 10回程度
 10回以上
 住民
 職場がある

Q4：あなたは、何らかの形で奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いをしたことがありますか。（必須）

- はい いいえ

Q5：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが参加した、または、お手伝いした奈良町の行事の名前とお手伝い(参加)の内容を教えてください。

複数ある場合は、全てご回答ください。

Q6：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加した、または、お手伝いした理由やきっかけは何ですか。

Q7：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事の参加する、または、お手伝いすることについてどう思いますか。

(複数回答可)

- 楽しい 誇りである 意義がある
 致し方ないことである 本当は参加したくない その他

Q8：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q9：Q4で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。

(複数回答可)

- 興味がない 参加したいが体力に不安がある 参加したいが時間がない
 参加したいがどうやって参加できるのかわからない 参加できるものだと思っていない その他

Q10：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q11 : Q4で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。今後、奈良町の伝統行事に参加する、おこす機会があれば参加したい(手伝いたい)ですか。

はい いいえ

Q12 : Q11の理由を教えてください

確認する

奈良市役所

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1

市役所コールセンター (電話) : 0742-36-4894 Fax : 0742-36-3552

コールセンターのご利用時間 : 年中無休 (平日/8時30分から18時まで 平日以外/9時から17時まで)

開庁時間 : 月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで

- > 個人情報の取り扱いについて
- > リンク・免責事項
- > 市庁舎へのアクセス
- > 市庁舎フロア案内
- > お問い合わせ

Copyright © Nara city. All Rights Reserved.

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3



インターネットでも
回答できます！

個人向けアンケート

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1(神社のお祭り)、Vol.2(地蔵盆)を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。

つきましては、**奈良町(ならまち・きたまち・京終エリア)に興味を持ってくださっている皆様にもアンケートにご協力くださるようお願いいたします。**なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

※ご記入いただいた個人情報は厳重に取り扱い適正に管理いたします。また、お預かりしました個人情報は、今回の目的以外に使用することはありません。

年代	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上	性別	男性 ・ 女性 ・ 回答しない
奈良町への 来訪回数	1回 ・ 2～3回 ・ 5回程度 ・ 10回程度 ・ 10回以上 ・ 住民 ・ 職場がある		

※奈良町は、旧市街地であるならまち・きたまち・京終エリアのことで、いずれかのエリアに来訪した回数を1回とカウントしてください。

各設問の該当する番号に○(丸印)つけてください。

問1) あなたは、何らかの形で伝統行事に参加、または、お手伝いしたことがありますか。参加、お手伝いしている場合は、その行事名とお手伝いの内容も教えてください。(複数ある場合は全てご回答ください。)

- ①はい
- ②いいえ →問4・5のみお答えください

行事名	
内容	

問2) 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加した、または、お手伝いした理由やきっかけは何ですか。

問3) 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いすることについてどう思いますか。(複数回答可)

- ①楽しい
- ②誇りである
- ③意義がある
- ④致し方ないことである
- ⑤本当は参加したくない
- ⑥その他 ()

問4) 問1で「いいえ」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。

- ①興味がない
- ②参加したいが体力に不安がある
- ③参加したいが時間がない
- ④参加したいがどうやって参加できるのかわからない
- ⑤参加できるものだと思っていない
- ⑥その他 ()

問5) 問1で「いいえ」と答えた方にお聞きします。今後、奈良町の伝統行事に参加する、お手伝いする機会があれば参加したい(手伝いたい)ですか。その理由も教えてください。

- ①はい
 - ②いいえ
- (理由)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

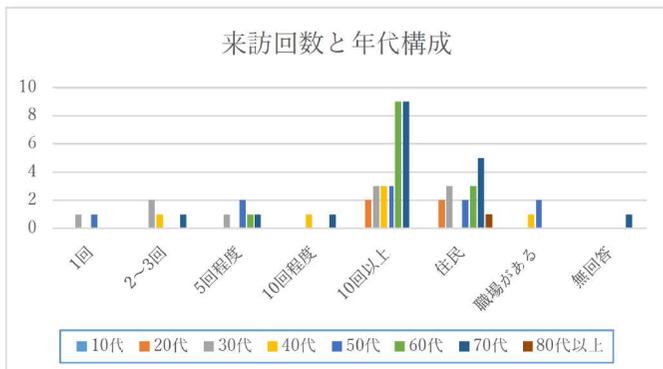
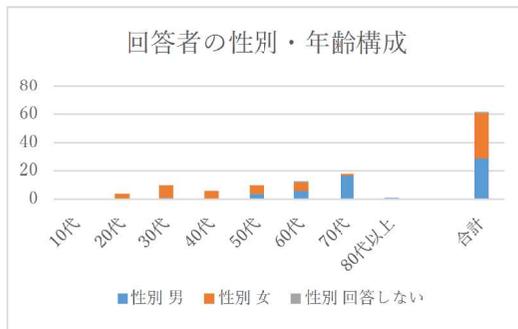
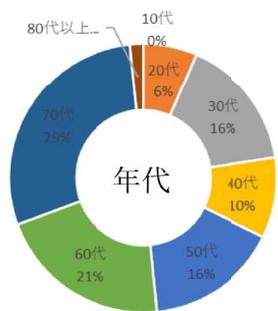
回答締切：令和2年12月14日(月)まで

回答先メールアドレス：naramachi-omotenashi@city.nara.lg.jp

■アンケート結果

基本情報（問1～3）（回答数62）※空欄は0人

問1) 年代	問2) 性別			問3) 奈良町への来訪回数								
	男	女	回答 しない	1回	2～3 回	5回 程度	10回 程度	10回 以上	住 民	職 場 がある	無回答	
10代												
20代	4	4						2	2			
30代	10	9	1	1	2	1		3	3			
40代	6	6			1		1	3		1		
50代	10	6		1		2		3	2	2		
60代	13	6	1			1		9	3			
70代	18	17	1		1	1	1	9	5			1
80代 以上	1	1							1			
合計	62	29	32	1	2	4	5	2	29	16	3	1



問4) あなたは、何らかの形で奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いをしたことがありますか。（回答者数62）

はい 24
いいえ 38

問5) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが参加した、または、お手伝いした奈良町の伝統行事の名前とお手伝い（参加）の内容を教えてください。（回答者数24）

行事とその内容 (35意見/24回答者中)

率川神社	1
三枝祭りに奉納したご縁で本祭の参列	
鏡神社	1
祭礼の受付	
元興寺	2
節分の袴・袴の着付け、もちまき	
御霊神社	4
例大祭、宵宮の屋台・オハケなど	
佐保川桜祭り	1
地藏盆	7
各町内や寺を巡るガイド	
聖武祭	1
各町内や寺を巡るガイド	
転害会	4
沿道警備	
東大寺	1
大仏さまの秋のお祭り	
竹送り	4
交通整理、ガイド	
追儺会	1
椿明神	1
例祭	
八鐵神社	1
御祭礼	
文殊会	1

八坂神社	1
宵宮の出店	
その他	5
珠光茶会、奈良の八重桜巡り、転害市、元興寺屋根裏ツアー、観光案内所当番	

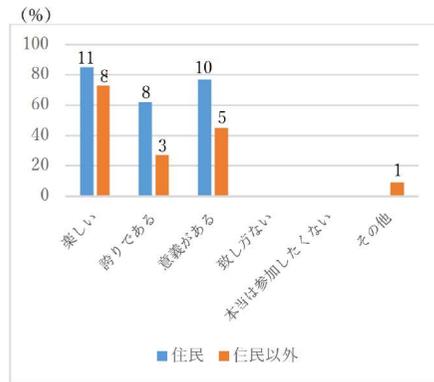
回答者の中で、地域の伝統行事に参加、またはお手伝いをしたことがあると答えた人数は、24人で全体の38.7%にあたる。そのうち、住民と答えた人は13人、それ以外の人は11人で、11人の内訳は、来訪回数が10回以上の人が7人、職場があると答えた人が3人、無回答1人だった。なお、表中の網掛けは、住民ではないと回答した人の参加（お手伝い）した行事である。

問6) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加した、または、お手伝いした理由やきっかけは何ですか。（回答者数17）

住民 (7)	
手伝いをした理由	
伝統行事に興味があったから	3
きっかけ	
お祭り関係者からの声掛け	2
住民だから・町の役員になったから	5

住民以外 (10)	
手伝いをした理由	
人とのつながりが楽しい	1
地域の皆さんと交流したい	1
きっかけ	
神社から頼まれた	1
友人・知人の誘い	2
職場のご縁	1
ボランティア団体のメンバーとして	4
元住民	1

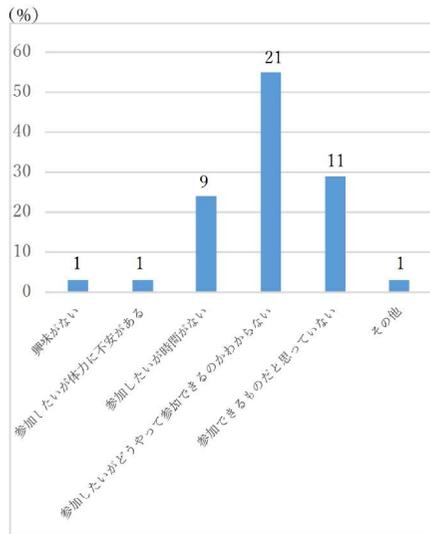
問7) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いすることについてどう思いますか。(複数回答、回答者数24:うち住民13、住民以外11)



伝統行事に参加(お手伝い)したことがあると答えた人に、その理由やきっかけを聞いたところ17件の回答があり、そのうち住人からの回答は7件、住人以外からの回答は10件あった。参加のきっかけについて、住民の場合は、住民になったら役割が回ってくるから、役員になったからといった理由が5件と半数を超えており、2件は行事関係者からの声掛けで参加するようになったと答えている。住民以外の参加のきっかけは、行事関係者、友人知人から誘われたと答えた人が3件、職場や所属する団体の関係と答えた人が5件あった。以上のことから、住民であっても、住民でなくても、役割がない場合に伝統行事に参加するきっかけは、関係者から誘われたからというものだった。

地域の伝統行事に参加したことがあると答えた人に、参加することについてどう思ったかを聞いたところ、ほとんどが「楽しい」「誇りである」「意義がある」と回答したが、住民と住民でない人では、その内訳に違いが見られた。

問8) 問4で「いいえ」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。(複数回答、回答者数38)

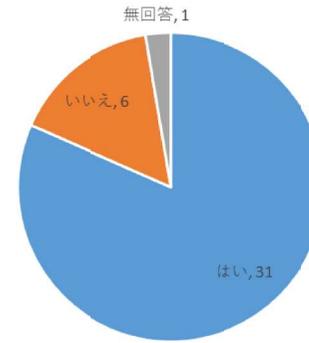


伝統行事に参加(お手伝い)していない理由として、最も多かったのは、「参加したいがどうやって参加できるかわからない」という回答で、回答者数の55%にあたる21人がこの選択肢を選んでいる。次いで、参加できるものだと思っていないという回答が多く、回答者数の29%にあたる11人が選んでいる。このことから、参加できる機会さえあれば参加したいという人が一定数いることがわかる。また、「参加したいが時間が開かない」と回答した9人の年代内訳は、20代が2人、50代が3人、60代が1人、70代が3人となっていた。

問9) 問4で「いいえ」と答えた方にお聞きします。今後、奈良町の伝統行事に参加する、お

手伝いする機会があれば参加したい(手伝いたい)ですか。

(回答者数37、無回答1)



問10) 問9の理由を教えてください。

(回答者数27)

「はい」と答えた理由

奈良や奈良町が好き(4)

- ・「ならまち」の空気感が自分に合うと思った。
- ・奈良町へ遊びに行く度、町の空気やそこで働く人に魅了されているから。
- ・奈良まちが好きなので。
- ・とりあえず奈良に行きたい

伝統行事や歴史文化に興味がある(8)

- ・奈良に近い大阪に住んで、奈良へ遊びに行く機会が増えるにつれて、魅力的な場所や興味深い歴史がたくさんある事に気がついたから。
- ・奈良町の伝統行事に興味がある
- ・地元ではないので、機会があるなら、参加しなれどもったいない。伝統的なものを体験する機会は貴重。

- ・伝統行事に興味があるので参加(お手伝い)してみたい
- ・歴史に興味があり、色々なことを体験したいから。
- ・伝統的なことに興味があるから
- ・奈良町の伝統行事に参加することにより、奈良町のことについての知識が深まるので機会があれば参加したい
- ・奈良の文化を体感したい。

まちづくり、地域活性化の役に立ちたい(7)

- ・奈良を活性化させる、また仲間作り、何かお役に立てる事なら参加したい。
- ・住んでいる場所の活性化に少しでも協力できたら嬉しいから。
- ・奈良町の保存と発展に協力したい
- ・奈良のお役に立ちたいので
- ・奈良町の近くに住んでいるので、活性化に協力できればいいと思っています。
- ・ボランティアガイドとして「奈良町」を歩き回っているので、機会があればお手伝いしたい
- ・時間にゆとりができればまちづくりに寄与したいと思っている

まちのコミュニティに入りたい(3)

- ・今年奈良に引っ越してきて、街のコミュニティに入りたいので。
- ・遊びに行くだけの場所から、もう少しその町に踏み込みたい…という思いから、伝統的な行事にも参加してみたいと思った。
- ・せっかく奈良に住んでいるので、もっと奈良のことを知りたいし、奈良の人たちと繋がりたいから。

その他(4)

- ・具体的な内容がわかれば参加したい。

- ・簡単に参加できる内容で、都合が合えば参加してみたい。
- ・どんな行事に参加できるのかわからない(けど)
- ・今奈良市に住んでいるから

「いいえ」と答えた理由

- ・あまり興味がありません
- ・実家が奈良だが私は大阪府民のため。また、子どもも小さく動きにくいので。
- ・いつどこで行事が行われるかわからないうえに、急に参加して地元の人に歓迎されるかどうか不明

新奈良町にぎわい構想 Ver.1

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3

まちづくり団体向けアンケート結果

アンケート概要

調査手法：無記名による選択式及び自由記述式のアンケートをインターネット、メールで配信

調査対象：奈良町に来訪経験のある人

調査期間：アンケート配布期間 令和2年11月11日（水）から

アンケート回収期間 令和2年12月14日（月）まで

配布方法：インターネット・SNSで配信

回収方法：オンライン回答（一部手渡し）

有効回答数：18件（無効数1件）

くらし・手続き	市民活動・文化・スポーツ	子育て・教育	福祉・医療・保健・健康	産業・しごと・事業者向け	奈良市の魅力	市政情報
---------	--------------	--------	-------------	--------------	--------	------

所在地 [トップページ](#) > 地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(まちづくり団体会員向け)

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(まちづくり団体会員向け)

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。つきましては、まちづくり団体でご活躍されている会員様にも当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。
※アンケートフォームは、ブラウザのクッキー(Cookie)を利用しています。(Cookie対応のブラウザでないとは動作しません) お問い合わせフォームを開いて60分を超えた場合、内容の送信ができなくなりますので、もし送信までに時間がかかる際には、事前にメモ帳やワードなどで文章を作成してから問合せフォームに貼り付けてください。

Q1：所属団体（必須）

Q2：年代（必須）

- 10代
 20代
 30代
 40代
 50代
 60代
 70代
 80代以上

Q3：性別（必須）

- 男性 女性 回答しない

Q4：あなたが所属する団体では、何らかの形で奈良町の伝統行事のお手伝いを行っていますか。（必須）

- はい いいえ

Q5：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属団体でお手伝いしている奈良町の伝統行事の名前とお手伝いの内容を教えてください。

Q6：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属する団体において、あなた自身は奈良町の伝統行事のお手伝いに参加していますか。または、参加したことがありますか。

- はい いいえ

Q7：Q6で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは奈良町の伝統行事のお手伝いをする、または、参加することについてどう思いますか。

(複数回答可)

- 楽しい 誇りである 意義がある
 致し方ないことである 本当は参加したくない その他

Q8：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q9：Q4、5で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いに参加していない理由は何ですか。

(複数回答可)

- 興味がない 手伝いたい体力に不安がある 手伝いたい時間がない
 手伝いたい機会がない 手伝いたいけどどうしたらいいかわからない その他

Q10：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q11：Q4、5で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いをする機会があれば参加したい(手伝いたい)ですか。

- はい いいえ

Q12：Q11の理由を教えてください

確認する

奈良市役所

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1

市役所コールセンター (電話) : 0742-36-4894 Fax : 0742-36-3552

コールセンターのご利用時間 : 年中無休 (平日 / 8時30分から18時まで 平日以外 / 9時から17時まで)

開庁時間 : 月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで

- > 個人情報の取り扱いについて
- > リンク・免責事項
- > 市庁舎へのアクセス
- > 市庁舎フロア案内
- > お問い合わせ

Copyright © Nara city. All Rights Reserved.

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3

まちづくり団体会員向けアンケート（会員個人回答）



インターネットでも
回答できます！

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。

つきましては、まちづくり団体でご活躍されている会員様にも当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

所属団体			
年代	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上	性別	男性 ・ 女性 ・ 回答しない

各設問の該当する番号に○（丸印）つけてください。

問1）あなたが所属する団体では、何らかの形で奈良町の伝統行事のお手伝いをしていますか。お手伝いしている場合は、その行事名とお手伝いの内容も教えてください。（複数ある場合は全て回答ください。）

- ①はい
- ②いいえ →問4・5のみお答えください

行事名	
内容	

問2）問1で「はい」と答えた方にお聞きします。所属する団体で、あなた自身は奈良町の伝統行事のお手伝いに参加していますか。または、参加したことがありますか。

- ①はい
- ②いいえ →問4へ

問3）問1で「はい」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いをするについてどう思いますか。（複数回答可）

- ①楽しい
- ②誇りである
- ③意義がある
- ④致し方ないことである
- ⑤本当は参加したくない
- ⑥その他（ ）

問4）問1、問2で「いいえ」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いに参加していない理由は何ですか。

- ①興味がない
- ②手伝いたい体力に不安がある
- ③手伝いたい時間がない
- ④手伝いたいけどどうしたらいいかわからない
- ⑤その他（ ）

問5）問1、問2で「いいえ」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いする機会があれば参加したい（手伝いたい）ですか。その理由も教えてください。

- ①はい
- ②いいえ

(理由)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答締切：令和2年12月14日（月）まで

回答先メールアドレス：naramachi-omotenashi@city.nara.lg.jp

■アンケート結果

基本情報（問1～3）（回答数18）※空欄は0人

問2) 年代	問3) 性別			問1) 所属団体						
	男	女	回答 しない	奈良ま ちづく りセン ター	奈良町 座	なべか つ※1	てんか つ※2	きたま ちコン セント	京終文 殊の会	NPO 京終
10代										
20代										
30代	2	2								1
40代	2	1	1						2	
50代	3	1	2		1	1			2	
60代	4	3	1	2※	1	1	1		1※	
70代	4	3	1	1			1		1	
80代 以上	3	3					3			
合計	18	13	5	0	3※	2	2	5	4	2※

※奈良まちづくりセンターと京終文殊の会の両方に参加していると回答した人は、両方でカウント

※1 なべかつ 旧鍋屋交番と奈良きたまの会

※2 てんかつ 転害門前旧銀行建物活用協議会

問4) あなたが所属する団体では何らかのかたちで奈良町の伝統行事のお手伝いをおこなっていますか。（回答者数18）

はい 12
いいえ 6

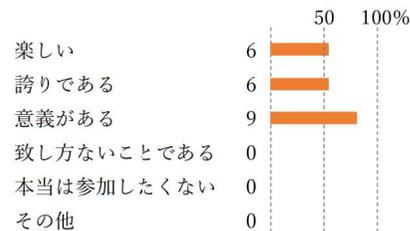
問5) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属する団体でお手伝いしている奈良町の伝統行事の名前とお手伝いの内容を教えてください。（回答者数10）

資金援助（寄附）、行事の企画・運営補助、宵宮への出店、会場貸し、行事関連講座の開催

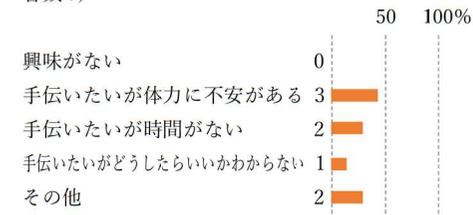
問6) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属する団体において、あなた自身は奈良町の伝統行事に参加していますか。または、参加したことがありますか。（回答数12）

はい 11
いいえ 1

問7) 問6で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは奈良町の伝統行事をお手伝いする、または、参加することについてどう思いますか。（回答者数11）



問8) 問4、6で「いいえ」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由はなんですか。（回答者数7）



問9) 問4、6で「いいえ」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。（回答者数6）

はい 2
いいえ 3
無回答 2

「はい」と答えた理由

- ・地域の文化、伝統を私達の世代含めて次の世代に繋げていきたい。そのために、個人ではなく会としてきっかけなどがあれば嬉しい。
- ・ならまちが大好きで、伝統行事が残っていることを誇りに思う。

「いいえ」と答えた理由

- ・高齢のため

回答しなかった人のコメント

- ・住民ではないので、直接の参加は無理。広報の手伝いや民俗行事の調査研究くらいは可能。